

フクビ
OA フロア FP3000・FP5000
施工要領書



【目次】

フクビ OA フロア FP3000・FP5000 は、金属製支柱とウッドコアスチールパネルとの構成で快適な歩行感を生み出し、また耐荷重性・耐衝撃性・燃焼性・加工性に優れたレベル調整タイプのスチール系 OA フロアです。

パネルの通線口から配線をスムーズに取り出せ、より快適なレイアウト変更にも柔軟に対応します。

この施工要領書は、快適な OA フロアを維持するに当たって、施工の際には是非守って頂きたいこと、実施して頂きたいことをまとめたものです。

1. OA フロア FP3000・FP5000 の構成と仕様

1-1 OA フロア FP3000・FP5000 の部材構成	P2
--------------------------------	----

2. 材料

2-1 部材	P3
2-2 オプション部材	P3
2-3 副資材（接着剤、ドリルビス）	P4

3. OA フロア FP3000・FP5000 床高さ調整範囲

3-1 支柱高さ調整範囲（床下配線スペース）	P5～8
3-2 床下地高さ調整範囲（パネル 20mm 天端までの高さ調整範囲）	P9～12
3-3 床仕上げ高さ調整範囲（タイルカーペット 6.5mm 天端までの高さ調整範囲）	P13～16

4. 施工手順

4-1 施工前の準備と確認	P17
4-2 墨出し	P17
4-2-1 片側の壁面から割付する場合	
4-2-2 部屋の中心から割付する場合	
4-3 不陸の測定	P17
4-4 支柱のレベル出し	P18
4-5 支柱の接着	P18
4-6 パネルの設置と調整	P19～20
4-6-1 パネルの設置と調整	
4-6-2 パネルの方向性	
4-7 端部パネルの設置と調整	P21～24
4-7-1 補助支柱の設置	
4-7-2 補助支柱のレベル出しと接着	
4-7-3 カットパネルの製作と施設	
4-7-4 端部の納まり例	
4-7-5 出隅部の納まり例	
4-7-6 パネルを斜めにカットした場合の納まり例	
4-8 支柱とパネルの固定	P25～26
4-8-1 交点支柱とパネルの固定	
4-8-2 補助支柱と端部パネルの固定	
4-9 上がり框の取り付け	P27
4-10 自主検査	P27
4-11 仕上げ材の施工	P27

5. 重量機器の搬入要領

5-1 重量機器搬入時の注意	P28
----------------	-----

自主検査表	P29
-------	-----

1. OA フロア FP3000・FP5000 の構成と仕様

1-1 OA フロア FP3000・FP5000 の部材構成

OA フロア FP3000・FP5000 はパネルと交点支柱・補助支柱で床組を構成し、パネルと交点支柱を交点固定ネジで固定する工法です。

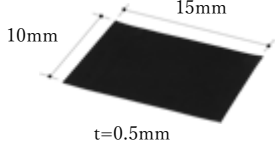


2.材料

2- 1 部材

FP3000・FP5000 基本パネル  用途：OA フロアのパネルとして使用 材質：スチール（パーティクルボードコア） 規格：499mm×499mm×20mm	交点支柱  S1・S2 型 H60～H80 H100～200 H210～600 ※S1・S2型はFP3000のみ ※H210～600は高床支柱 用途：真物のパネルを支える支柱（床高さ別に10種類） 材質：（低床S型）ポリプロピレン樹脂 （H60～600）スチール、ポリプロピレン樹脂
交点固定ネジ（ワッシャー）  S1・S2 型 H60～80 H100～200 用途：パネルの固定に使用 材質：（低床S型）ねじ鋼製、 ワッシャーポリアミド樹脂 （H60～H600）ポリアセタール樹脂	補助支柱  S1・S2 型 0A～2A 型 H80～200 H210～600 ※S1はFP3000のみ ※H210～600は高床支柱 用途：壁際部のパネルを支える支柱（床高さ別に16種類） 材質：（低床S型）ポリプロピレン樹脂 （0A～2A型）合板、ポリプロピレン樹脂 （H80～H600）スチール、ポリプロピレン樹脂

2-2 オプション部材

FP3000・FP5000 端タップパネル  用途：辺部にコンセントを取り付ける開口を有するパネル 材質：スチール （パーティクルボードコア） タップカバー材質：スチール＋樹脂 規格：499mm×499mm×20mm	ガタツキ調整パッキン  用途：床不陸によるガタツキがある場合に支柱の台板に取り付けて使用 材質：ゴム 規格：0.5×10×15mm ※A4 サイズ 380 枚取り	クッションゴム  用途：壁面の傷防止として、必要に応じ壁際パネルの側面に取り付けて使用 材質：EPDM ゴム （片面剥離紙付き） 規格：5×10×500mm
---	--	---

2.材料

2-3 副資材

●推奨接着剤（支柱固定用）

品名	製造元	主成分	備考
ディノグリップ 333	ノーテプ工業株式会社	ウレタン樹脂	JAIA(日本接着剤工業会) F☆☆☆☆
ルビロン 302	トーヨーポリマー株式会社	ウレタン樹脂	
スーパーU ダイン N	フクビ化学工業株式会社	ウレタン樹脂	

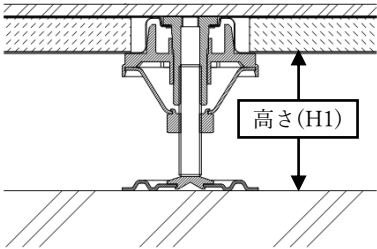
●ドリルビス

ドリルビス 32mm 以上（端部パネルと補助支柱の固定に使用）

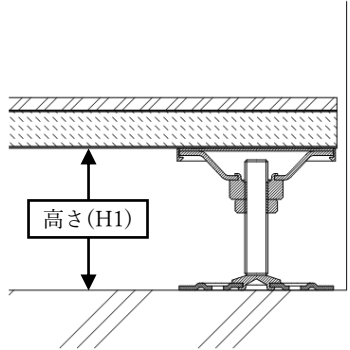
3.OA フロア FP3000・FP5000 床高さ調整範囲

3-1 支柱高さ調整範囲（床下配線スペース）

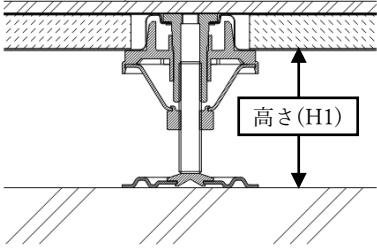
【FP3000 交点支柱】

品名	支柱台板天端までの 高さ（H1）調整範囲〔mm〕	中央高さ〔mm〕	備考
交点支柱 S1	17～26	21.5	
交点支柱 S2	23～32	27.5	
交点支柱 H60	27～39	33	
交点支柱 H70	33～49	41	
交点支柱 H80	43～59	51	
交点支柱 H100	53～91	72	
交点支柱 H130	83～121	102	
交点支柱 H150	103～141	122	
交点支柱 H180	133～171	152	
交点支柱 H200	153～191	172	
交点支柱 H210	163～201	182	
交点支柱 H220	173～211	192	
交点支柱 H230	183～221	202	
交点支柱 H240	193～231	212	
交点支柱 H250	203～241	222	
交点支柱 H260	213～251	232	
交点支柱 H270	223～261	242	
交点支柱 H280	233～271	252	
交点支柱 H290	243～281	262	
交点支柱 H300	253～291	272	
交点支柱 H310	263～301	282	
交点支柱 H320	273～311	292	
交点支柱 H330	283～321	302	
交点支柱 H340	293～331	312	
交点支柱 H350	303～341	322	
交点支柱 H360	313～351	332	
交点支柱 H370	323～361	342	
交点支柱 H380	333～371	352	
交点支柱 H390	343～381	362	
交点支柱 H400	353～391	372	
交点支柱 H410	363～401	382	
交点支柱 H420	373～411	392	
交点支柱 H430	383～421	402	
交点支柱 H440	393～431	412	
交点支柱 H450	403～441	422	
交点支柱 H460	413～451	432	
交点支柱 H470	423～461	442	
交点支柱 H480	433～471	452	
交点支柱 H490	443～481	462	
交点支柱 H500	453～491	472	
交点支柱 H550	503～541	522	
交点支柱 H600	553～591	572	

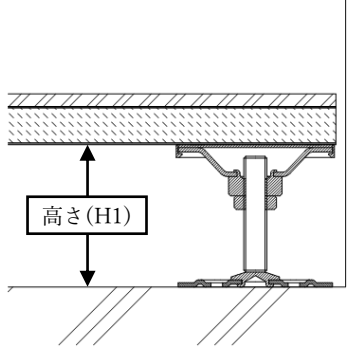
【FP3000 補助支柱】

品名	支柱台板天端までの 高さ (H1) 調整範囲 [mm]	中央高さ [mm]	備考
補助支柱 S1	17～26	21.5	
補助支柱 S2	23～32	27.5	
補助支柱 0A	28～37	32.5	
補助支柱 1A	34～48	41	
補助支柱 2A	43～60	51.5	
補助支柱 H80	58～81	69.5	
補助支柱 H100	68～91	79.5	
補助支柱 H110	78～101	89.5	
補助支柱 H120	88～111	99.5	
補助支柱 H130	98～121	109.5	
補助支柱 H140	108～131	119.5	
補助支柱 H150	118～141	129.5	
補助支柱 H160	128～151	139.5	
補助支柱 H170	138～161	149.5	
補助支柱 H180	148～171	159.5	
補助支柱 H190	158～181	169.5	
補助支柱 H200	168～191	179.5	
補助支柱 H210	177.5～203	190.25	
補助支柱 H220	187.5～213	200.25	
補助支柱 H230	197.5～223	210.25	
補助支柱 H240	207.5～233	220.25	
補助支柱 H250	217.5～243	230.25	
補助支柱 H260	227.5～253	240.25	
補助支柱 H270	237.5～263	250.25	
補助支柱 H280	247.5～273	260.25	
補助支柱 H290	257.5～283	270.25	
補助支柱 H300	267.5～293	280.25	
補助支柱 H310	275.5～303	289.25	
補助支柱 H320	285.5～313	299.25	
補助支柱 H330	295.5～323	309.25	
補助支柱 H340	305.5～333	319.25	
補助支柱 H350	315.5～343	329.25	
補助支柱 H360	325.5～353	339.25	
補助支柱 H370	335.5～363	349.25	
補助支柱 H380	345.5～373	359.25	
補助支柱 H390	355.5～383	369.25	
補助支柱 H400	365.5～393	379.25	
補助支柱 H410	375.5～403	389.25	
補助支柱 H420	385.5～413	399.25	
補助支柱 H430	395.5～423	409.25	
補助支柱 H440	405.5～433	419.25	
補助支柱 H450	415.5～443	429.25	
補助支柱 H460	425.5～453	439.25	
補助支柱 H470	435.5～463	449.25	
補助支柱 H480	445.5～473	459.25	
補助支柱 H490	455.5～483	469.25	
補助支柱 H500	465.5～493	479.25	
補助支柱 H550	515.5～543	529.25	
補助支柱 H600	567～593	580	

【FP5000 交点支柱】

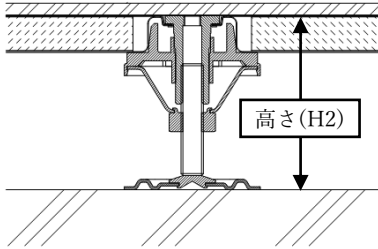
品名	支柱台板天端までの 高さ (H1) 調整範囲 [mm]	中央高さ [mm]	備考
交点支柱 H60	27～39	33	
交点支柱 H70	33～49	41	
交点支柱 H80	43～59	51	
交点支柱 H100	53～91	72	
交点支柱 H130	83～121	102	
交点支柱 H150	103～141	122	
交点支柱 H180	133～171	152	
交点支柱 H200	153～191	172	
交点支柱 H210	163～201	182	
交点支柱 H220	173～211	192	
交点支柱 H230	183～221	202	
交点支柱 H240	193～231	212	
交点支柱 H250	203～241	222	
交点支柱 H260	213～251	232	
交点支柱 H270	223～261	242	
交点支柱 H280	233～271	252	
交点支柱 H290	243～281	262	
交点支柱 H300	253～291	272	
交点支柱 H310	270～301	285.5	
交点支柱 H320	280～311	295.5	
交点支柱 H330	290～321	305.5	
交点支柱 H340	300～331	315.5	
交点支柱 H350	310～341	325.5	
交点支柱 H360	320～351	335.5	
交点支柱 H370	330～361	345.5	
交点支柱 H380	340～371	355.5	
交点支柱 H390	350～381	365.5	
交点支柱 H400	360～391	375.5	
交点支柱 H410	370～401	385.5	
交点支柱 H420	380～411	395.5	
交点支柱 H430	390～421	405.5	
交点支柱 H440	400～431	415.5	
交点支柱 H450	410～441	425.5	
交点支柱 H460	420～451	435.5	
交点支柱 H470	430～461	445.5	
交点支柱 H480	440～471	455.5	
交点支柱 H490	450～481	465.5	
交点支柱 H500	460～491	475.5	
交点支柱 H550	510～541	525.5	
交点支柱 H600	560～591	575.5	

【FP5000 補助支柱】

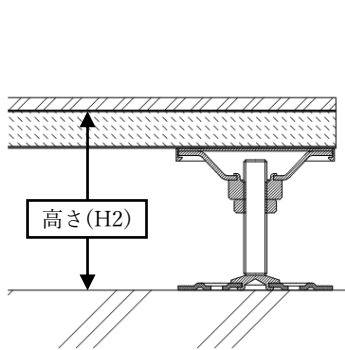
品名	支柱台板天端までの 高さ (H1) 調整範囲 [mm]	中央高さ [mm]	備考
補助支柱 S2	23～32	27.5	
補助支柱 0A	28～37	32.5	
補助支柱 1A	34～48	41	
補助支柱 2A	43～60	51.5	
補助支柱 H80	58～81	69.5	
補助支柱 H100	68～91	79.5	
補助支柱 H110	78～101	89.5	
補助支柱 H120	88～111	99.5	
補助支柱 H130	98～121	109.5	
補助支柱 H140	108～131	119.5	
補助支柱 H150	118～141	129.5	
補助支柱 H160	128～151	139.5	
補助支柱 H170	138～161	149.5	
補助支柱 H180	148～171	159.5	
補助支柱 H190	158～181	169.5	
補助支柱 H200	168～191	179.5	
補助支柱 H210	177.5～203	190.25	
補助支柱 H220	187.5～213	200.25	
補助支柱 H230	197.5～223	210.25	
補助支柱 H240	207.5～233	220.25	
補助支柱 H250	217.5～243	230.25	
補助支柱 H260	227.5～253	240.25	
補助支柱 H270	237.5～263	250.25	
補助支柱 H280	247.5～273	260.25	
補助支柱 H290	257.5～283	270.25	
補助支柱 H300	267.5～293	280.25	
補助支柱 H310	275.5～303	289.25	
補助支柱 H320	285.5～313	299.25	
補助支柱 H330	295.5～323	309.25	
補助支柱 H340	305.5～333	319.25	
補助支柱 H350	315.5～343	329.25	
補助支柱 H360	325.5～353	339.25	
補助支柱 H370	337～363	350	
補助支柱 H380	347～373	360	
補助支柱 H390	357～383	370	
補助支柱 H400	367～393	380	
補助支柱 H410	377～403	390	
補助支柱 H420	387～413	400	
補助支柱 H430	397～423	410	
補助支柱 H440	407～433	420	
補助支柱 H450	417～443	430	
補助支柱 H460	427～453	440	
補助支柱 H470	437～463	450	
補助支柱 H480	447～473	460	
補助支柱 H490	457～483	470	
補助支柱 H500	467～493	480	
補助支柱 H550	517～543	530	
補助支柱 H600	567～593	580	

3-2 床下地高さ調整範囲（パネル 20mm 天端までの高さ調整範囲）

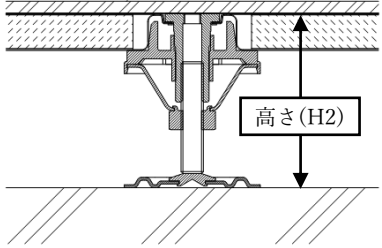
【FP3000 交点支柱】

品名	パネル天端までの高さ (H2) 調整範囲〔mm〕	中央高さ 〔mm〕	床下配線 スペース〔mm〕	備考
交点支柱 S1	37～46	41.5	17～26	
交点支柱 S2	43～52	47.5	23～32	
交点支柱 H60	47～59	53	27～39	
交点支柱 H70	53～69	61	33～49	
交点支柱 H80	63～79	71	43～59	
交点支柱 H100	73～111	92	53～91	
交点支柱 H130	103～141	122	83～121	
交点支柱 H150	123～161	142	103～141	
交点支柱 H180	153～191	172	133～171	
交点支柱 H200	173～211	192	153～191	
交点支柱 H210	183～221	202	163～201	
交点支柱 H220	193～231	212	173～211	
交点支柱 H230	203～241	222	183～221	
交点支柱 H240	213～251	232	193～231	
交点支柱 H250	223～261	242	203～241	
交点支柱 H260	233～271	252	213～251	
交点支柱 H270	243～281	262	223～261	
交点支柱 H280	253～291	272	233～271	
交点支柱 H290	263～301	282	243～281	
交点支柱 H300	273～311	292	253～291	
交点支柱 H310	283～321	302	263～301	
交点支柱 H320	293～331	312	273～311	
交点支柱 H330	303～341	322	283～321	
交点支柱 H340	313～351	332	293～331	
交点支柱 H350	323～361	342	303～341	
交点支柱 H360	333～371	352	313～351	
交点支柱 H370	343～381	362	323～361	
交点支柱 H380	353～391	372	333～371	
交点支柱 H390	363～401	382	343～381	
交点支柱 H400	373～411	392	353～391	
交点支柱 H410	383～421	402	363～401	
交点支柱 H420	393～431	412	373～411	
交点支柱 H430	403～441	422	383～421	
交点支柱 H440	413～451	432	393～431	
交点支柱 H450	423～461	442	403～441	
交点支柱 H460	433～471	452	413～451	
交点支柱 H470	443～481	462	423～461	
交点支柱 H480	453～491	472	433～471	
交点支柱 H490	463～501	482	443～481	
交点支柱 H500	473～511	492	453～491	
交点支柱 H550	523～561	542	503～541	
交点支柱 H600	573～611	592	553～591	

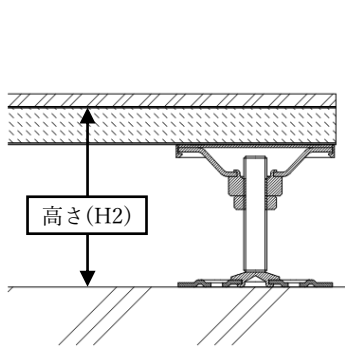
【FP3000 補助支柱】

品名	パネル天端までの高さ (H2) 調整範囲〔mm〕	中央高さ 〔mm〕	床下配線 スペース〔mm〕	備考
補助支柱 S1	37～46	41.5	17～26	
補助支柱 S2	43～52	47.5	23～32	
補助支柱 0A	48～57	52.5	28～37	
補助支柱 1A	54～68	61	34～48	
補助支柱 2A	63～80	71.5	43～60	
補助支柱 H80	78～101	89.5	58～81	
補助支柱 H100	88～111	99.5	68～91	
補助支柱 H110	98～121	109.5	78～101	
補助支柱 H120	108～131	119.5	88～111	
補助支柱 H130	118～141	129.5	98～121	
補助支柱 H140	128～151	139.5	108～131	
補助支柱 H150	138～161	149.5	118～141	
補助支柱 H160	148～171	159.5	128～151	
補助支柱 H170	158～181	169.5	138～161	
補助支柱 H180	168～191	179.5	148～171	
補助支柱 H190	178～201	189.5	158～181	
補助支柱 H200	188～211	199.5	168～191	
補助支柱 H210	197.5～223	210.25	177.5～203	
補助支柱 H220	207.5～233	220.25	187.5～213	
補助支柱 H230	217.5～243	230.25	197.5～223	
補助支柱 H240	227.5～253	240.25	207.5～233	
補助支柱 H250	237.5～263	250.25	217.5～243	
補助支柱 H260	247.5～273	260.25	227.5～253	
補助支柱 H270	257.5～283	270.25	237.5～263	
補助支柱 H280	267.5～293	280.25	247.5～273	
補助支柱 H290	277.5～303	290.25	257.5～283	
補助支柱 H300	287.5～313	300.25	267.5～293	
補助支柱 H310	295.5～323	309.25	275.5～303	
補助支柱 H320	305.5～333	319.25	285.5～313	
補助支柱 H330	315.5～343	329.25	295.5～323	
補助支柱 H340	325.5～353	339.25	305.5～333	
補助支柱 H350	335.5～363	349.25	315.5～343	
補助支柱 H360	345.5～373	359.25	325.5～353	
補助支柱 H370	355.5～383	369.25	335.5～363	
補助支柱 H380	365.5～393	379.25	345.5～373	
補助支柱 H390	375.5～403	389.25	355.5～383	
補助支柱 H400	385.5～413	399.25	365.5～393	
補助支柱 H410	395.5～423	409.25	375.5～403	
補助支柱 H420	405.5～433	419.25	385.5～413	
補助支柱 H430	415.5～443	429.25	395.5～423	
補助支柱 H440	425.5～453	439.25	405.5～433	
補助支柱 H450	435.5～463	449.25	415.5～443	
補助支柱 H460	445.5～473	459.25	425.5～453	
補助支柱 H470	455.5～483	469.25	435.5～463	
補助支柱 H480	465.5～493	479.25	445.5～473	
補助支柱 H490	475.5～503	489.25	455.5～483	
補助支柱 H500	485.5～513	499.25	465.5～493	
補助支柱 H550	535.5～563	549.25	515.5～543	
補助支柱 H600	587～613	600	567～593	

【FP5000 交点支柱】

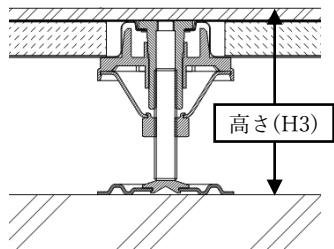
品名	パネル天端までの高さ (H2) 調整範囲〔mm〕	中央高さ 〔mm〕	床下配線 スペース〔mm〕	備考
交点支柱 H60	47～59	53	27～39	
交点支柱 H70	53～69	61	33～49	
交点支柱 H80	63～79	71	43～59	
交点支柱 H100	73～111	92	53～91	
交点支柱 H130	103～141	122	83～121	
交点支柱 H150	123～161	142	103～141	
交点支柱 H180	153～191	172	133～171	
交点支柱 H200	173～211	192	153～191	
交点支柱 H210	183～221	202	163～201	
交点支柱 H220	193～231	212	173～211	
交点支柱 H230	203～241	222	183～221	
交点支柱 H240	213～251	232	193～231	
交点支柱 H250	223～261	242	203～241	
交点支柱 H260	233～271	252	213～251	
交点支柱 H270	243～281	262	223～261	
交点支柱 H280	253～291	272	233～271	
交点支柱 H290	263～301	282	243～281	
交点支柱 H300	273～311	292	253～291	
交点支柱 H310	290～321	305.5	270～301	
交点支柱 H320	300～331	315.5	280～311	
交点支柱 H330	310～341	325.5	290～321	
交点支柱 H340	320～351	335.5	300～331	
交点支柱 H350	330～361	345.5	310～341	
交点支柱 H360	340～371	355.5	320～351	
交点支柱 H370	350～381	365.5	330～361	
交点支柱 H380	360～391	375.5	340～371	
交点支柱 H390	370～401	385.5	350～381	
交点支柱 H400	380～411	395.5	360～391	
交点支柱 H410	390～421	405.5	370～401	
交点支柱 H420	400～431	415.5	380～411	
交点支柱 H430	410～441	425.5	390～421	
交点支柱 H440	420～451	435.5	400～431	
交点支柱 H450	430～461	445.5	410～441	
交点支柱 H460	440～471	455.5	420～451	
交点支柱 H470	450～481	465.5	430～461	
交点支柱 H480	460～491	475.5	440～471	
交点支柱 H490	470～501	485.5	450～481	
交点支柱 H500	480～511	495.5	460～491	
交点支柱 H550	530～561	545.5	510～541	
交点支柱 H600	580～611	595.5	560～591	

【FP5000 補助支柱】

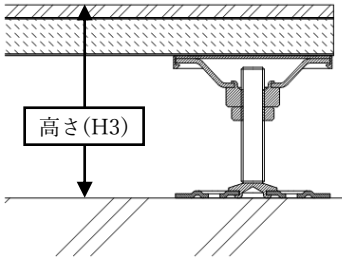
品名	パネル天端までの高さ (H2) 調整範囲〔mm〕	中央高さ 〔mm〕	床下配線 スペース〔mm〕	備考
補助支柱 S2	43～52	47.5	23～32	
補助支柱 0A	48～57	52.5	28～37	
補助支柱 1A	54～68	61	34～48	
補助支柱 2A	63～80	71.5	43～60	
補助支柱 H80	78～101	89.5	58～81	
補助支柱 H100	88～111	99.5	68～91	
補助支柱 H110	98～121	109.5	78～101	
補助支柱 H120	108～131	119.5	88～111	
補助支柱 H130	118～141	129.5	98～121	
補助支柱 H140	128～151	139.5	108～131	
補助支柱 H150	138～161	149.5	118～141	
補助支柱 H160	148～171	159.5	128～151	
補助支柱 H170	158～181	169.5	138～161	
補助支柱 H180	168～191	179.5	148～171	
補助支柱 H190	178～201	189.5	158～181	
補助支柱 H200	188～211	199.5	168～191	
補助支柱 H210	197.5～223	210.25	177.5～203	
補助支柱 H220	207.5～233	220.25	187.5～213	
補助支柱 H230	217.5～243	230.25	197.5～223	
補助支柱 H240	227.5～253	240.25	207.5～233	
補助支柱 H250	237.5～263	250.25	217.5～243	
補助支柱 H260	247.5～273	260.25	227.5～253	
補助支柱 H270	257.5～283	270.25	237.5～263	
補助支柱 H280	267.5～293	280.25	247.5～273	
補助支柱 H290	277.5～303	290.25	257.5～283	
補助支柱 H300	287.5～313	300.25	267.5～293	
補助支柱 H310	295.5～323	309.25	275.5～303	
補助支柱 H320	305.5～333	319.25	285.5～313	
補助支柱 H330	315.5～343	329.25	295.5～323	
補助支柱 H340	325.5～353	339.25	305.5～333	
補助支柱 H350	335.5～363	349.25	315.5～343	
補助支柱 H360	345.5～373	359.25	325.5～353	
補助支柱 H370	357～383	370	337～363	
補助支柱 H380	367～393	380	347～373	
補助支柱 H390	377～403	390	357～383	
補助支柱 H400	387～413	400	367～393	
補助支柱 H410	397～423	410	377～403	
補助支柱 H420	407～433	420	387～413	
補助支柱 H430	417～443	430	397～423	
補助支柱 H440	427～453	440	407～433	
補助支柱 H450	437～463	450	417～443	
補助支柱 H460	447～473	460	427～453	
補助支柱 H470	457～483	470	437～463	
補助支柱 H480	467～493	480	447～473	
補助支柱 H490	477～503	490	457～483	
補助支柱 H500	487～513	500	467～493	
補助支柱 H550	537～563	550	517～543	
補助支柱 H600	587～613	600	567～593	

3-3 床仕上げ高さ調整範囲（タイルカーペット 6.5mm 天端までの高さ調整範囲）

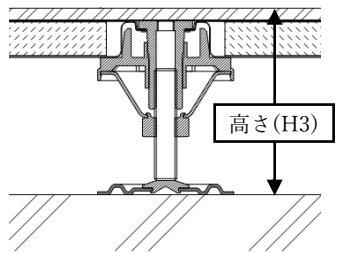
【FP3000 交点支柱】

品名	タイルカーペット 6.5 mm 天端までの高さ (H3) 調整範囲 [mm]	中央高さ [mm]	床下配線 スペース [mm]	備考
交点支柱 S1	43.5～52.5	48	17～26	
交点支柱 S2	49.5～58.5	54	23～32	
交点支柱 H60	53.5～65.5	59.5	27～39	
交点支柱 H70	59.5～75.5	67.5	33～49	
交点支柱 H80	69.5～85.5	77.5	43～59	
交点支柱 H100	79.5～117.5	98.5	53～91	
交点支柱 H130	109.5～147.5	128.5	83～121	
交点支柱 H150	129.5～167.5	148.5	103～141	
交点支柱 H180	159.5～197.5	178.5	133～171	
交点支柱 H200	179.5～217.5	198.5	153～191	
交点支柱 H210	189.5～227.5	208.5	163～201	
交点支柱 H220	199.5～237.5	218.5	173～211	
交点支柱 H230	209.5～247.5	228.5	183～221	
交点支柱 H240	219.5～257.5	238.5	193～231	
交点支柱 H250	229.5～267.5	248.5	203～241	
交点支柱 H260	239.5～277.5	258.5	213～251	
交点支柱 H270	249.5～287.5	268.5	223～261	
交点支柱 H280	259.5～297.5	278.5	233～271	
交点支柱 H290	269.5～307.5	288.5	243～281	
交点支柱 H300	279.5～317.5	298.5	253～291	
交点支柱 H310	289.5～327.5	308.5	263～301	
交点支柱 H320	299.5～337.5	318.5	273～311	
交点支柱 H330	309.5～347.5	328.5	283～321	
交点支柱 H340	319.5～357.5	338.5	293～331	
交点支柱 H350	329.5～367.5	348.5	303～341	
交点支柱 H360	339.5～377.5	358.5	313～351	
交点支柱 H370	349.5～387.5	368.5	323～361	
交点支柱 H380	359.5～397.5	378.5	333～371	
交点支柱 H390	369.5～407.5	388.5	343～381	
交点支柱 H400	379.5～417.5	398.5	353～391	
交点支柱 H410	389.5～427.5	408.5	363～401	
交点支柱 H420	399.5～437.5	418.5	373～411	
交点支柱 H430	409.5～447.5	428.5	383～421	
交点支柱 H440	419.5～457.5	438.5	393～431	
交点支柱 H450	429.5～467.5	448.5	403～441	
交点支柱 H460	439.5～477.5	458.5	413～451	
交点支柱 H470	449.5～487.5	468.5	423～461	
交点支柱 H480	459.5～497.5	478.5	433～471	
交点支柱 H490	469.5～507.5	488.5	443～481	
交点支柱 H500	479.5～517.5	498.5	453～491	
交点支柱 H550	529.5～567.5	548.5	503～541	
交点支柱 H600	579.5～617.5	598.5	553～591	

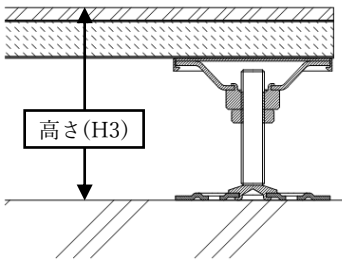
【FP3000 補助支柱】

品名	タイルカーペット 6.5 mm 天端までの高さ (H3) 調整範囲 (mm)	中央高さ (mm)	床下配線 スペース (mm)	備考
補助支柱 S1	43.5～52.5	48	17～26	
補助支柱 S2	49.5～58.5	54	23～32	
補助支柱 0A	54.5～63.5	59	28～37	
補助支柱 1A	60.5～74.5	67.5	34～48	
補助支柱 2A	69.5～86.5	78	43～60	
補助支柱 H80	84.5～107.5	96	58～81	
補助支柱 H100	94.5～117.5	106	68～91	
補助支柱 H110	104.5～127.5	116	78～101	
補助支柱 H120	114.5～137.5	126	88～111	
補助支柱 H130	124.5～147.5	136	98～121	
補助支柱 H140	134.5～157.5	146	108～131	
補助支柱 H150	144.5～167.5	156	118～141	
補助支柱 H160	154.5～177.5	166	128～151	
補助支柱 H170	164.5～187.5	176	138～161	
補助支柱 H180	174.5～197.5	186	148～171	
補助支柱 H190	184.5～207.5	196	158～181	
補助支柱 H200	194.5～217.5	206	168～191	
補助支柱 H210	204～229.5	216.75	177.5～203	
補助支柱 H220	214～239.5	226.75	187.5～213	
補助支柱 H230	224～249.5	236.75	197.5～223	
補助支柱 H240	234～259.5	246.75	207.5～233	
補助支柱 H250	244～269.5	256.75	217.5～243	
補助支柱 H260	254～279.5	266.75	227.5～253	
補助支柱 H270	264～289.5	276.75	237.5～263	
補助支柱 H280	274～299.5	286.75	247.5～273	
補助支柱 H290	284～309.5	296.75	257.5～283	
補助支柱 H300	294～319.5	306.75	267.5～293	
補助支柱 H310	302～329.5	315.75	275.5～303	
補助支柱 H320	312～339.5	325.75	285.5～313	
補助支柱 H330	322～349.5	335.75	295.5～323	
補助支柱 H340	332～359.5	345.75	305.5～333	
補助支柱 H350	342～369.5	355.75	315.5～343	
補助支柱 H360	352～379.5	365.75	325.5～353	
補助支柱 H370	362～389.5	375.75	335.5～363	
補助支柱 H380	372～399.5	385.75	345.5～373	
補助支柱 H390	382～409.5	395.75	355.5～383	
補助支柱 H400	392～419.5	405.75	365.5～393	
補助支柱 H410	402～429.5	415.75	375.5～403	
補助支柱 H420	412～439.5	425.75	385.5～413	
補助支柱 H430	422～449.5	435.75	395.5～423	
補助支柱 H440	432～459.5	445.75	405.5～433	
補助支柱 H450	442～469.5	455.75	415.5～443	
補助支柱 H460	452～479.5	465.75	425.5～453	
補助支柱 H470	462～489.5	475.75	435.5～463	
補助支柱 H480	472～499.5	485.75	445.5～473	
補助支柱 H490	482～509.5	495.75	455.5～483	
補助支柱 H500	492～519.5	505.75	465.5～493	
補助支柱 H550	542～569.5	555.75	515.5～543	
補助支柱 H600	593.5～619.5	606.5	567～593	

【FP5000 交点支柱】

品名	タイルカーペット 6.5 mm 天端までの高さ (H3) 調整範囲〔mm〕	中央高さ 〔mm〕	床下配線 スペース〔mm〕	備考
交点支柱 H60	53.5～65.5	59.5	27～39	
交点支柱 H70	59.5～75.5	67.5	33～49	
交点支柱 H80	69.5～85.5	77.5	43～59	
交点支柱 H100	79.5～117.5	98.5	53～91	
交点支柱 H130	109.5～147.5	128.5	83～121	
交点支柱 H150	129.5～167.5	148.5	103～141	
交点支柱 H180	159.5～197.5	178.5	133～171	
交点支柱 H200	179.5～217.5	198.5	153～191	
交点支柱 H210	189.5～227.5	208.5	163～201	
交点支柱 H220	199.5～237.5	218.5	173～211	
交点支柱 H230	209.5～247.5	228.5	183～221	
交点支柱 H240	219.5～257.5	238.5	193～231	
交点支柱 H250	229.5～267.5	248.5	203～241	
交点支柱 H260	239.5～277.5	258.5	213～251	
交点支柱 H270	249.5～287.5	268.5	223～261	
交点支柱 H280	259.5～297.5	278.5	233～271	
交点支柱 H290	269.5～307.5	288.5	243～281	
交点支柱 H300	279.5～317.5	298.5	253～291	
交点支柱 H310	296.5～327.5	312	270～301	
交点支柱 H320	306.5～337.5	322	280～311	
交点支柱 H330	316.5～347.5	332	290～321	
交点支柱 H340	326.5～357.5	342	300～331	
交点支柱 H350	336.5～367.5	352	310～341	
交点支柱 H360	346.5～377.5	362	320～351	
交点支柱 H370	356.5～387.5	372	330～361	
交点支柱 H380	366.5～397.5	382	340～371	
交点支柱 H390	376.5～407.5	392	350～381	
交点支柱 H400	386.5～417.5	402	360～391	
交点支柱 H410	396.5～427.5	412	370～401	
交点支柱 H420	406.5～437.5	422	380～411	
交点支柱 H430	416.5～447.5	432	390～421	
交点支柱 H440	426.5～457.5	442	400～431	
交点支柱 H450	436.5～467.5	452	410～441	
交点支柱 H460	446.5～477.5	462	420～451	
交点支柱 H470	456.5～487.5	472	430～461	
交点支柱 H480	466.5～497.5	482	440～471	
交点支柱 H490	476.5～507.5	492	450～481	
交点支柱 H500	486.5～517.5	502	460～491	
交点支柱 H550	536.5～567.5	552	510～541	
交点支柱 H600	586.5～617.5	602	560～591	

【FP5000 補助支柱】

品名	タイルカーペット 6.5 mm 天端までの高さ (H3) 調整範囲 [mm]	中央高さ [mm]	床下配線 スペース [mm]	備考
補助支柱 S2	49.5～58.5	54	23～32	
補助支柱 0A	54.5～63.5	59	28～37	
補助支柱 1A	60.5～74.5	67.5	34～48	
補助支柱 2A	69.5～86.5	78	43～60	
補助支柱 H80	84.5～107.5	96	58～81	
補助支柱 H100	94.5～117.5	106	68～91	
補助支柱 H110	104.5～127.5	116	78～101	
補助支柱 H120	114.5～137.5	126	88～111	
補助支柱 H130	124.5～147.5	136	98～121	
補助支柱 H140	134.5～157.5	146	108～131	
補助支柱 H150	144.5～167.5	156	118～141	
補助支柱 H160	154.5～177.5	166	128～151	
補助支柱 H170	164.5～187.5	176	138～161	
補助支柱 H180	174.5～197.5	186	148～171	
補助支柱 H190	184.5～207.5	196	158～181	
補助支柱 H200	194.5～217.5	206	168～191	
補助支柱 H210	204～229.5	216.75	177.5～203	
補助支柱 H220	214～239.5	226.75	187.5～213	
補助支柱 H230	224～249.5	236.75	197.5～223	
補助支柱 H240	234～259.5	246.75	207.5～233	
補助支柱 H250	244～269.5	256.75	217.5～243	
補助支柱 H260	254～279.5	266.75	227.5～253	
補助支柱 H270	264～289.5	276.75	237.5～263	
補助支柱 H280	274～299.5	286.75	247.5～273	
補助支柱 H290	284～309.5	296.75	257.5～283	
補助支柱 H300	294～319.5	306.75	267.5～293	
補助支柱 H310	302～329.5	315.75	275.5～303	
補助支柱 H320	312～339.5	325.75	285.5～313	
補助支柱 H330	322～349.5	335.75	295.5～323	
補助支柱 H340	332～359.5	345.75	305.5～333	
補助支柱 H350	342～369.5	355.75	315.5～343	
補助支柱 H360	352～379.5	365.75	325.5～353	
補助支柱 H370	363.5～389.5	376.5	337～363	
補助支柱 H380	373.5～399.5	386.5	347～373	
補助支柱 H390	383.5～409.5	396.5	357～383	
補助支柱 H400	393.5～419.5	406.5	367～393	
補助支柱 H410	403.5～429.5	416.5	377～403	
補助支柱 H420	413.5～439.5	426.5	387～413	
補助支柱 H430	423.5～449.5	436.5	397～423	
補助支柱 H440	433.5～459.5	446.5	407～433	
補助支柱 H450	443.5～469.5	456.5	417～443	
補助支柱 H460	453.5～479.5	466.5	427～453	
補助支柱 H470	463.5～489.5	476.5	437～463	
補助支柱 H480	473.5～499.5	486.5	447～473	
補助支柱 H490	483.5～509.5	496.5	457～483	
補助支柱 H500	493.5～519.5	506.5	467～493	
補助支柱 H550	543.5～569.5	556.5	517～543	
補助支柱 H600	593.5～619.5	606.5	567～593	

4. 施工手順

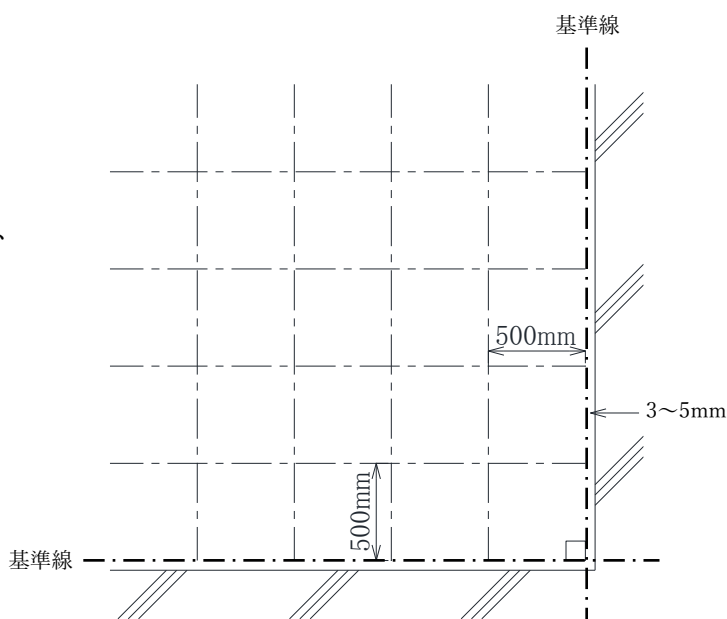
4-1 施工前の準備と確認

- 仕上に貼るタイルカーペットや OA フロア用タイルの割付により OA フロアの割付方法は決まります。
事前に仕上げ材がどのような割付になるかを確認し、OA フロアの割付を行ってください。
- OA フロア FP3000・FP5000 は、壁際のパネル寸法を 50mm 以上としています。誤差や余裕をみて
壁際パネルが 50mm 未満にならないように割付を行ってください。
- 施工前に施工場所の不陸状態に関する調査を行い、支柱の種類を支柱の高さ調整範囲から勘案して選定してください。
- コンクリート面を清掃し、極端な凸凹がある場合は修正を依頼してください。
- 開梱包は施工階にて行ってください。

4-2 墨出し

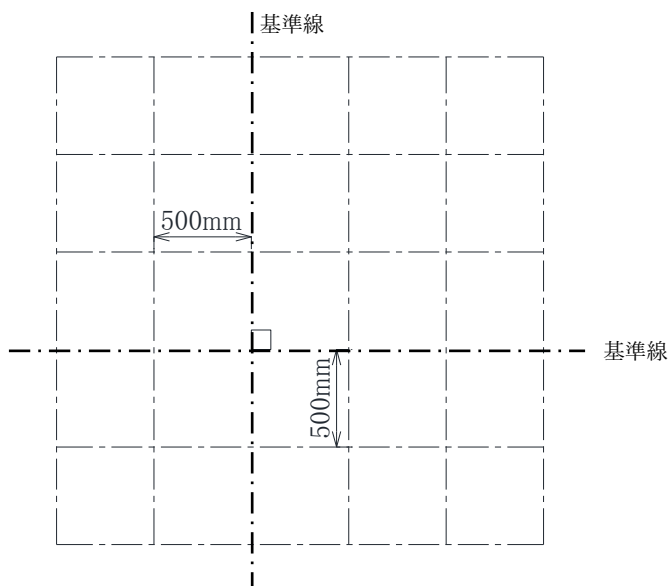
4-2-1 片側の壁面から割付する場合

- ①右図の様に壁面から 3～5mm の位置を基準とし、
床面に墨出しを行います。
対角寸法を測定しながら直角にもう一方の
基準線を墨出しします。
- ②合わせて基準線から 500mm 間隔で基準線と
平行に墨出しを行い、床全面に碁盤目状の
墨出しを行います。



4-2-2 部屋の中心から割付する場合

- ①部屋の縦横の中心線を正確に墨打ちし、
その線を基準線として 500mm 間隔で床全面に
墨出しを行います。



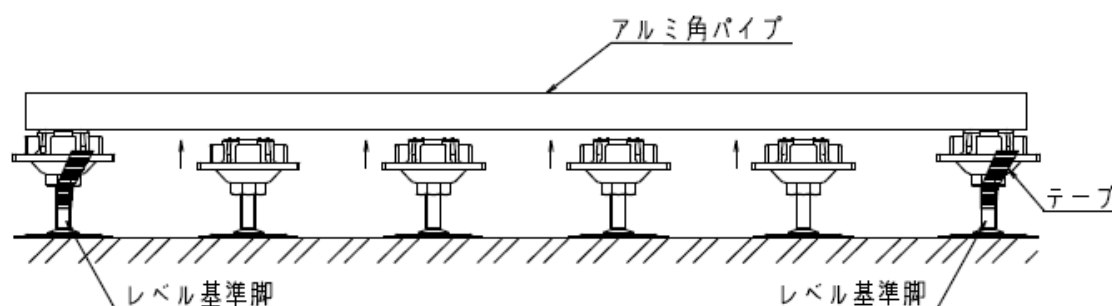
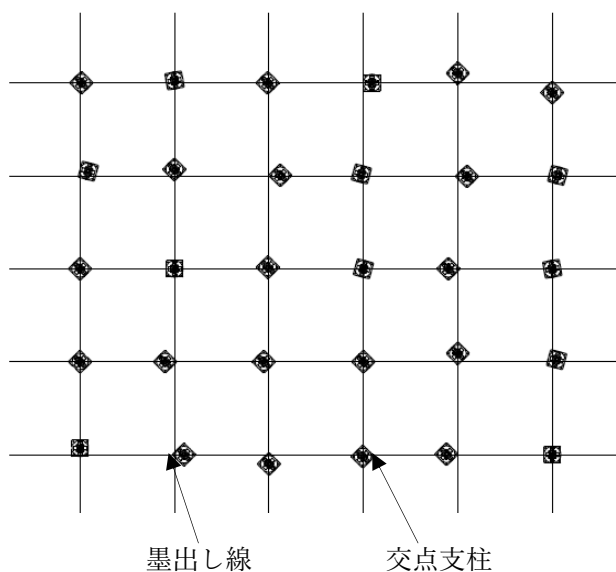
4-3 不陸の測定

- ①墨出し交点の主要ポイント部について不陸の測定を行います。
- ②不陸が床高さ調整範囲に入っていることを確認します。

4. 施工手順

4-4 支柱のレベル出し

- ① 墨出しの交点に交点支柱を並べ仮置きします。
- ② 基準となる交点支柱（6本に1本程度）を決め、基準となる交点支柱のレベル出しを行います。
- ③ アルミ製角パイプ等を用いてレベル出した基準となる交点支柱とその他の交点支柱のレベルを合わせます

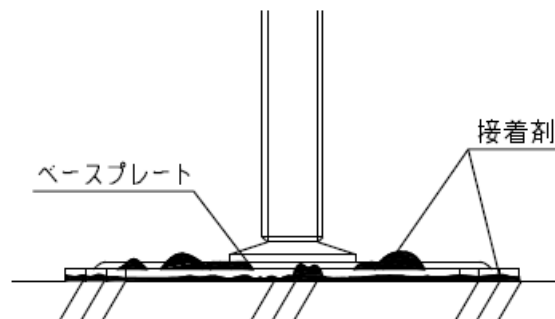


ワンポイントアドバイス

レベル調整した基準となる交点支柱には、目印を付けると他の交点支柱とレベルを揃える際に、分かりやすくなります。

4-5 支柱の接着

- ① 接着剤をベースプレート裏面側に 25g～30 g 塗布してください。
支柱 S1～1A 型の場合、ナット下面に 60g～70 g 塗布してください。
- ② 支柱をベースプレートおよびナット下面の外周部及び孔部から接着剤が多少はみ出すまで押し付け、接着剤が行き渡るようにします。
- ③ 支柱は一度に全数を接着せず、接着剤の硬化時間を考慮の上、パネルを敷き込む量に合わせて順次行うようにして下さい。



4. 施工手順

4-6 パネルの設置と調整

4-6-1 パネルの設置と調整

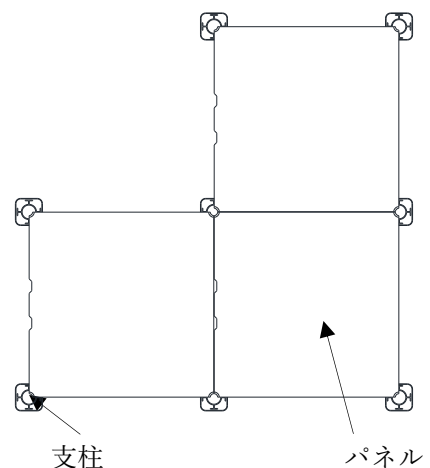
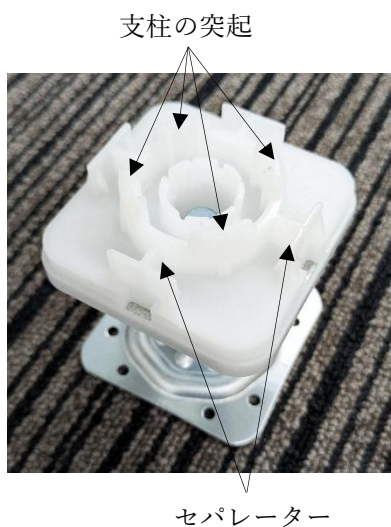
- ①最初に基準となるパネルの敷設を行います。直角に出した墨を基準にし、パネル位置が墨から直角であること、またパネルが水平であることを確認しながら調整を行います。

※基準パネルのレベル調整や位置出しは、その後のパネル敷設に重要な役割を果たします。

- ②最初に敷設した基準パネルを中心に、順次敷設を行っていきます。この際、支柱の突起にパネルコーナーを引っ掛けセパレーターにパネルを当て、目地を確認しながら敷設をしていきます。

(セパレーターによりパネルの目地は 1mm になります。)

※S1、S2 型と H60～600 の交点支柱の頭頂部の突起はいずれも同形状です。



※パネルの方向性に注意ください。(次項 4-6-2 参照)

ワンポイントアドバイス

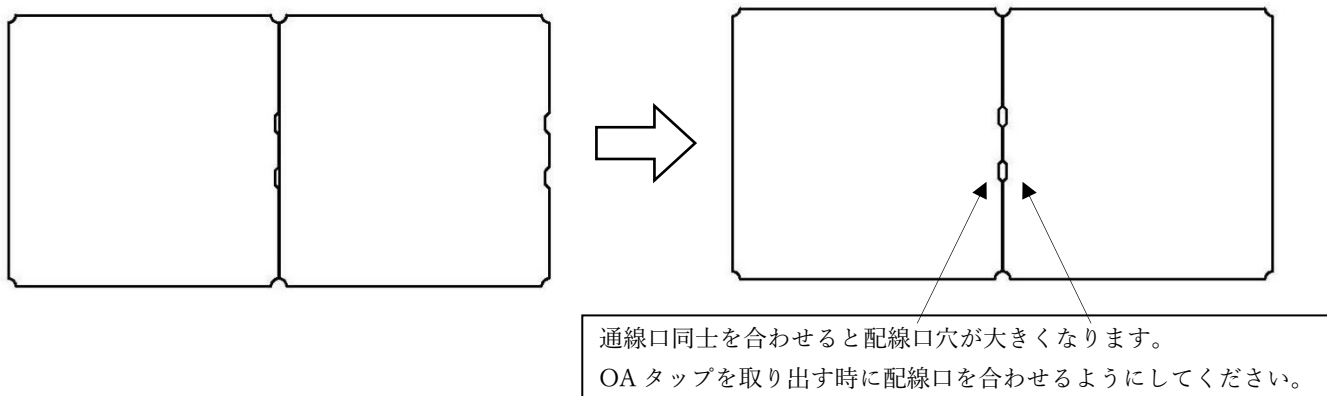
- パネルの四隅を押してガタツキの確認をしてください。
- 床の不陸によってガタツキが直らない場合は、ガタツキ調整パッキンを使用してください。

4.施工手順

4-6-2 パネルの方向性

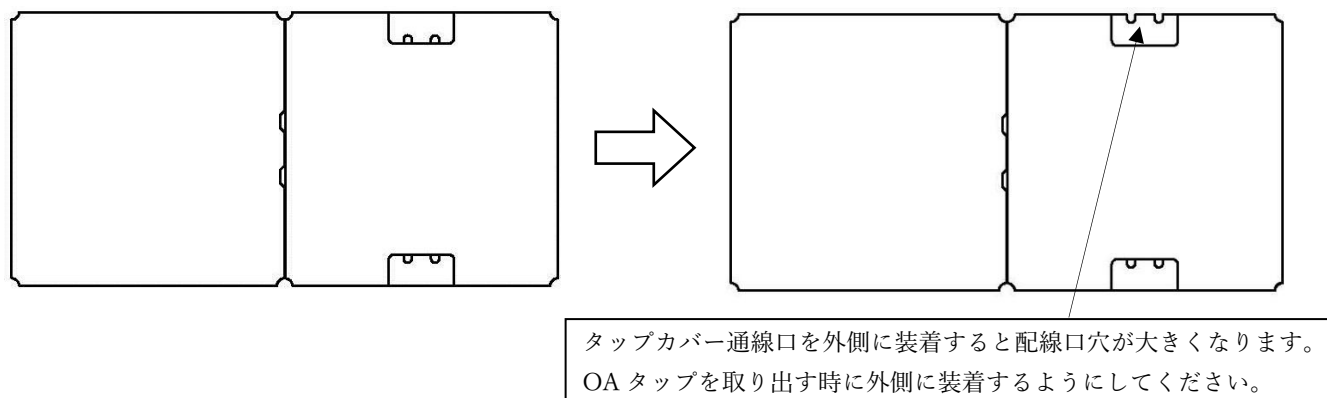
○基本パネル同士が隣接する場合

※通線口同士を合わせると配線口穴が大きくなります。安全性を配慮し OA タップ取り出す時に電気工事業者様がパネルの配線口を合わせるようにしてください。



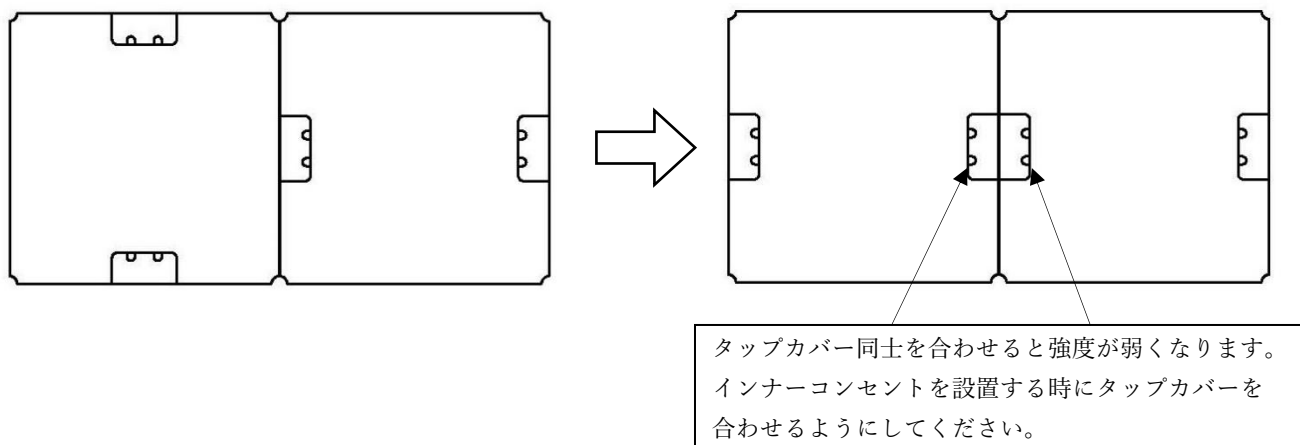
○タップカバーの方向性

※タップカバー通線口を外側に装着すると配線口穴が大きくなります。安全性を考慮し OA タップを取り出す時に電気工事業者様が外側に装着するようにしてください。



○端タップパネル同士が隣接する場合

※タップカバー同士を合わせると強度が弱くなります。安全性を確保するため、一旦はタップカバーの面が隣り合わないよう設置し、電気工事業者様がインナーコンセントを取り付ける時にパネルを外してタップカバー同士が隣り合うようにしてください。



4. 施工手順

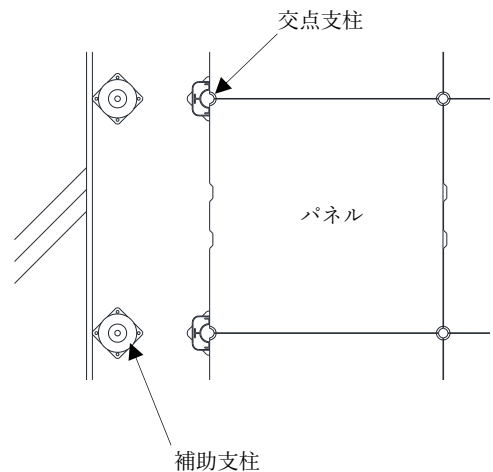
4-7 端部パネルの設置と調整

4-7-1 補助支柱の設置

- 壁際部分には真物で納める場合でも、カットパネルの場合でも補助型支柱を設置しパネルを敷設して納めます。
- 墨線上にできる限り壁際に寄せて、補助支柱を仮置きします。

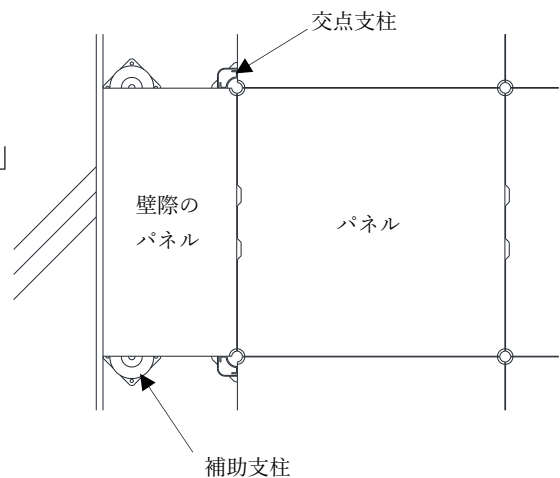
4-7-2 補助支柱のレベル出しと接着

- ①先に並べた中央部の交点支柱と、端部に設置する補助支柱のレベルを合わせます。
- ②交点支柱を外して、接着剤を 25～30g (S1 型、S2 型は 60～70g) 塗布し、ベースプレートまたはナットの外周部及び孔部から接着剤がはみ出すまで押し付け、接着剤が行き渡るようにします。
また、補助支柱も同様に接着剤で床面に固定します。



4-7-3 カットパネルの製作と敷設

- パネルを真物で納められない場合は、パネルを現場でカットする必要があります。
- 壁際部は寸法により納め方が異なります。
次項「4-7-4 端部の納まり例」「4-7-5 出隅部の納まり例」を参照して下さい。

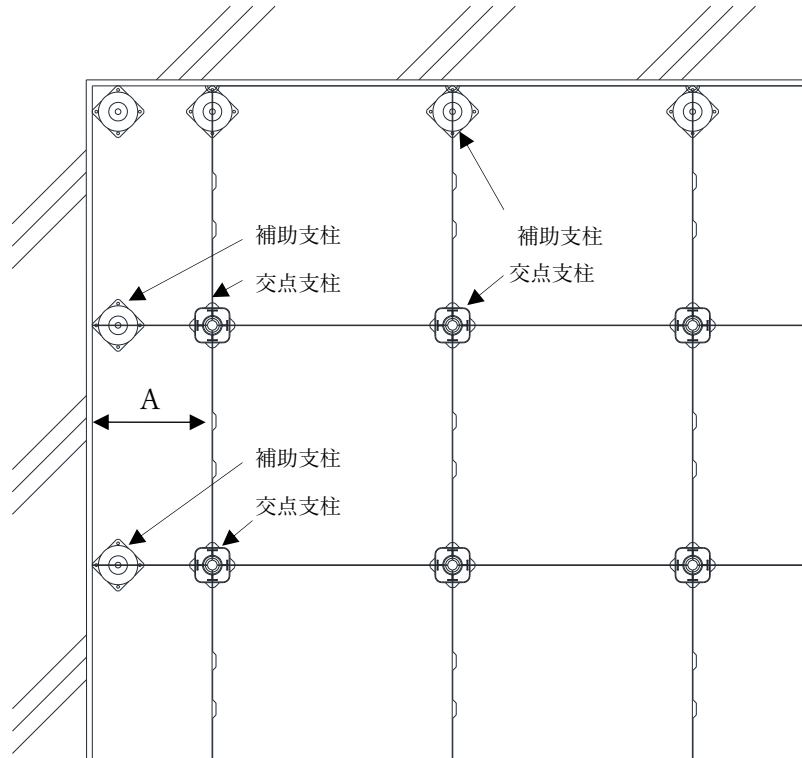


4.施工手順

4-7-4 端部の納まり例

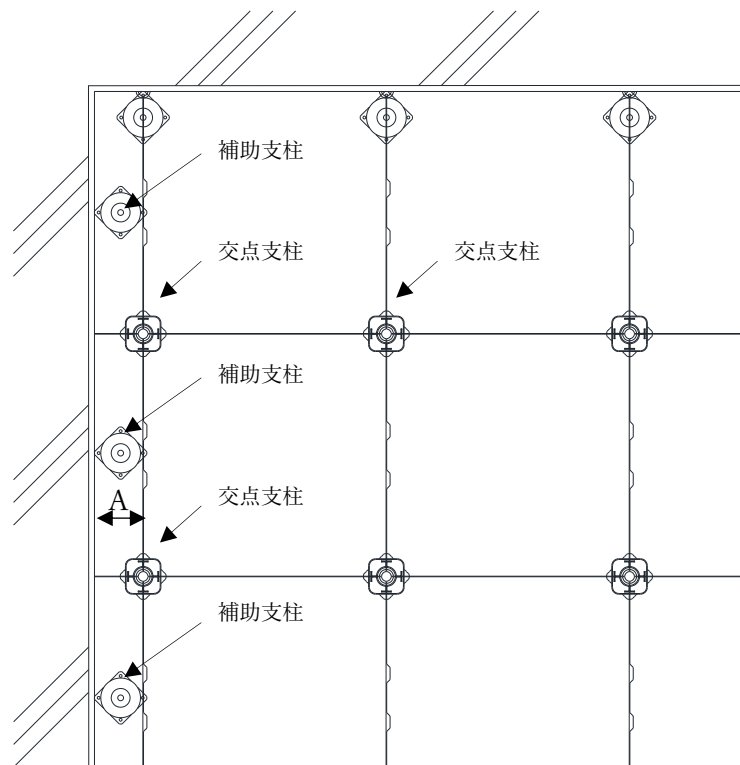
○寸法 A が 150mm 以上の場合 ($A \geq 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部と入隅角部分に配置して下さい。



○寸法 A が 50mm 以上 150mm 未満の場合 ($50\text{mm} \leq A < 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下図のように交点支柱と干渉しない位置に配置して下さい。

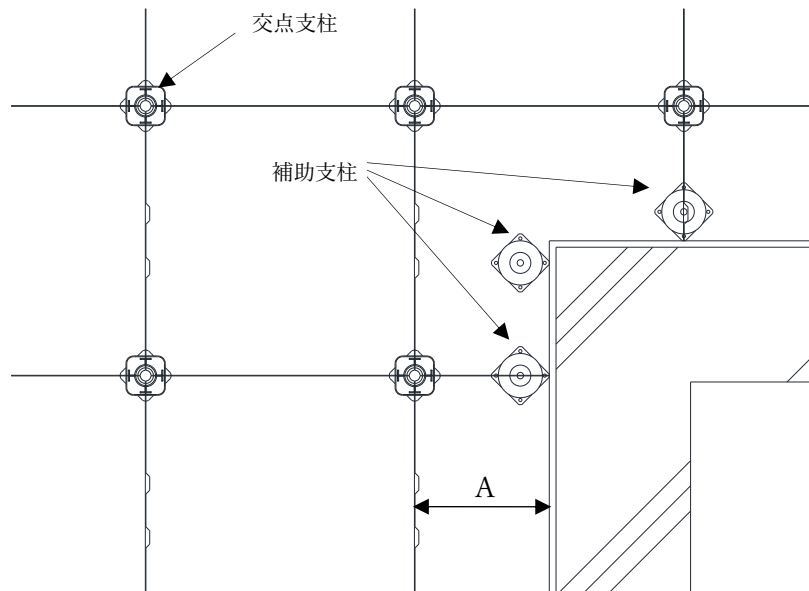


4.施工手順

4-7-5 出隅部の納まり例

○寸法 A が 150mm 以上の場合 ($A \geq 150\text{mm}$)

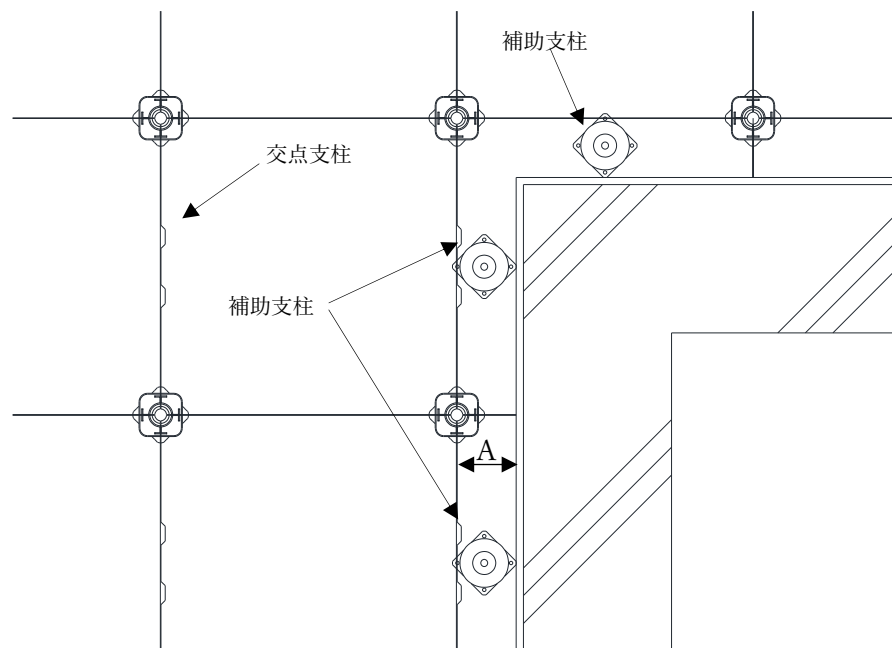
※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部と出隅各部付近に配置して下さい。



○寸法 A が 50mm 以上 150mm 未満の場合 ($50\text{mm} \leq A < 150\text{mm}$)

※補助支柱の配置については、下図のように交点支柱と干渉しない位置にバランスよく配置して下さい。

また、出隅角付近には図のように 2 か所補助支柱を配置してください。

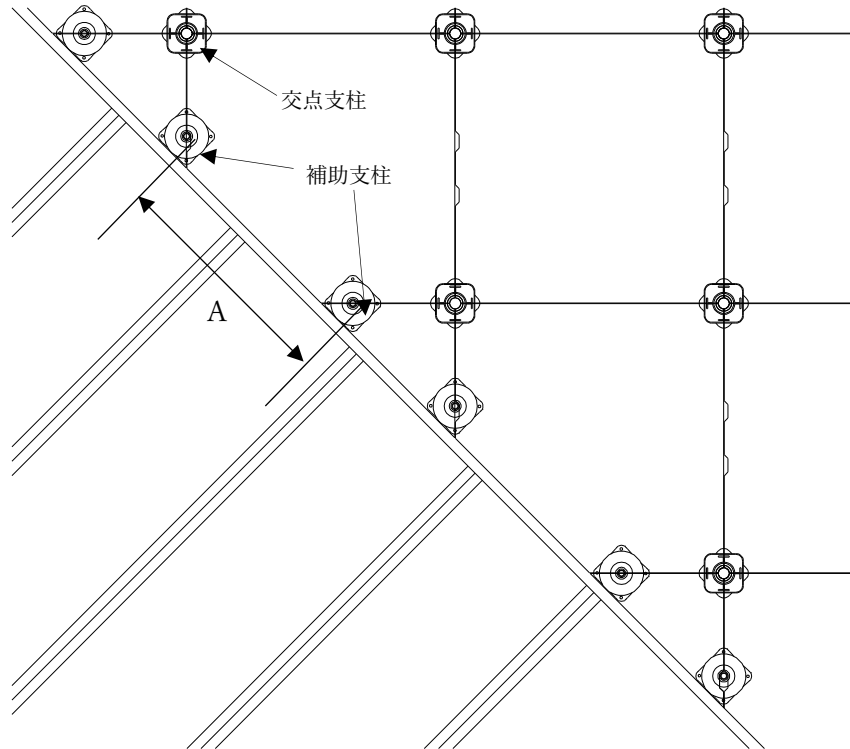


4. 施工手順

4-7-6 パネルを斜めにカットした場合の納まり例

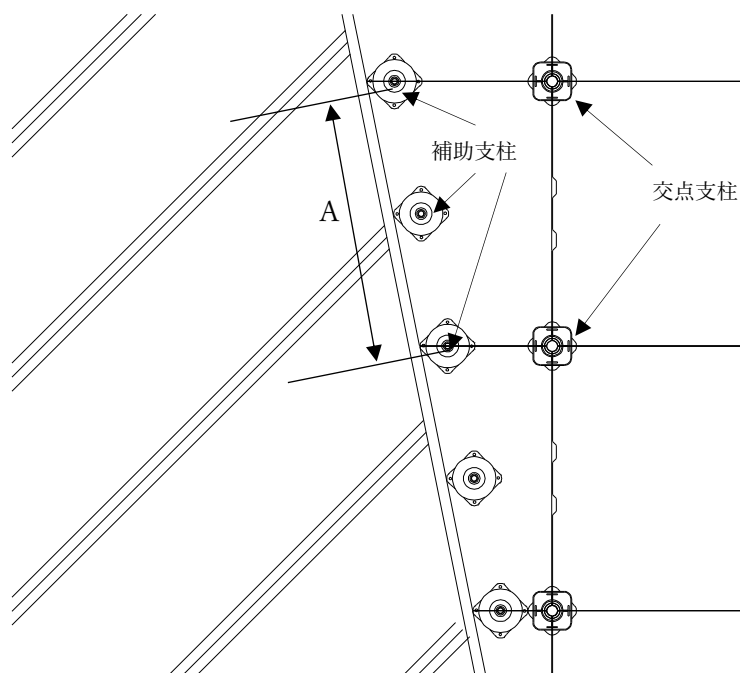
○パネル目地部に配置する補助支柱の芯々寸法 A が 500mm 未満の場合

※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部に配置して下さい。



○パネル目地部に配置する補助支柱の芯々寸法 A が 500mm 以上の場合

※補助支柱の配置については、下図のようにパネル目地部に配置し、その中央にもう 1 本補助支柱を配置してください。



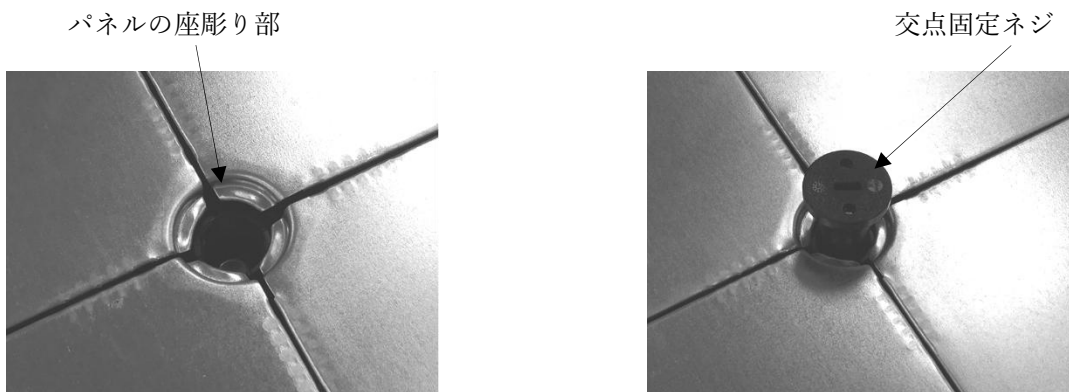
4. 施工手順

4-8 支柱とパネルの固定

4-8-1 交点支柱とパネルの固定

◆交点支柱 H60～600の場合

○交点固定ネジを交点支柱のネジ切り部に差し込み、マイナスドライバー（幅 8mm）又は電動ドライバーにて固定して下さい。電動ドライバーの際は 8mm 幅のマイナスビットをご使用下さい。

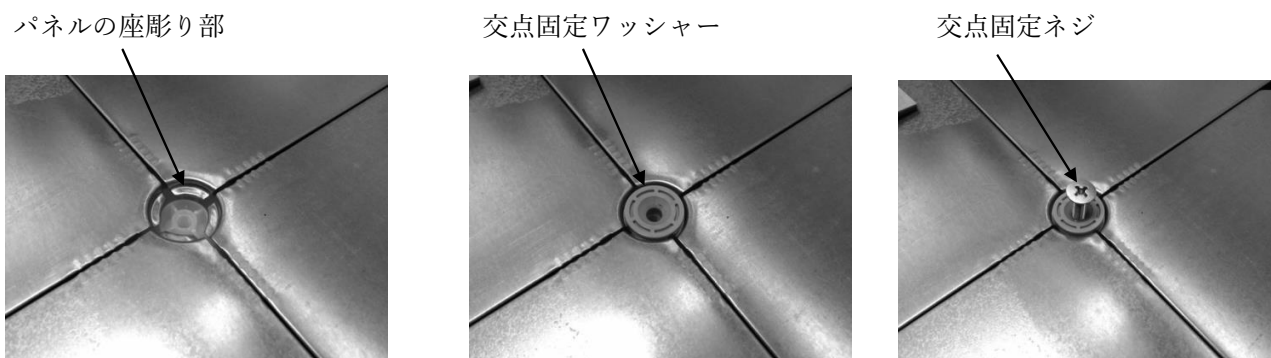


※電動ドライバーを使用する場合は、締めすぎに注意して下さい。

※固定する際、4 枚パネル位置が正確に配置されていること及び支柱の浮き上がりがないことを再確認して下さい。

◆交点支柱 S1型、S2型の場合

○パネルの座彫り部に交点固定ワッシャーを配置し、交点固定ネジを交点支柱のネジ切り部に差し込み、ねじ回し（プラスドライバー）又は電動ドライバーにて固定して下さい。



※電動ドライバーを使用する場合は、締めすぎに注意して下さい。

※固定する際、4 枚パネル位置が正確に配置されていること及び支柱の浮き上がりがないことを再確認して下さい。

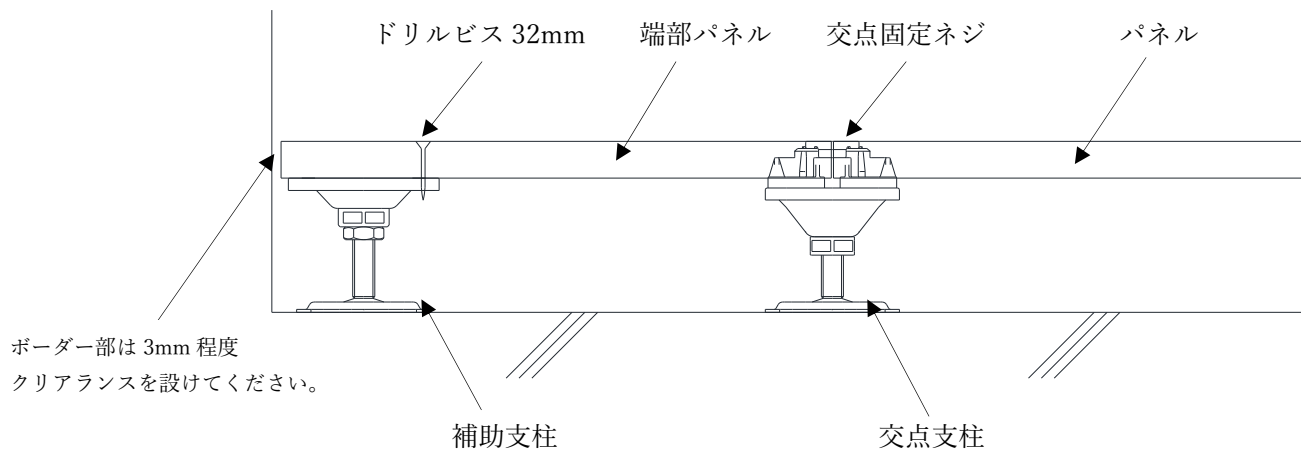
4-8-2 補助支柱と端部パネルの固定

○端部パネルと補助支柱の台板をドリルビス 32mm 以上（補助支柱 1 本に対してビス 2 本）にて固定して下さい。

※S1 型～1A 型の場合は、皿ビス 32mm 以上（補助支柱 1 本に対してビス 2 本）にて固定して下さい。

※固定する際、壁際とパネルに隙間があることを確認して下さい。

※固定する際、パネルの浮き上がりがないことを確認して下さい。



ワンポイントアドバイス

φ10 程度のキリでパネルに座彫り加工を行って、ドリルビスを固定すると、ビス頭がパネル表面に出にくくなります。

○パネルに浮き上がりがある場合、交点固定ネジを一旦緩めると浮き上がりなくなります。

※皿ビスで固定した後に、交点固定ネジのトルクを調整して下さい。

4.施工手順

4-9 上がり框の取り付け

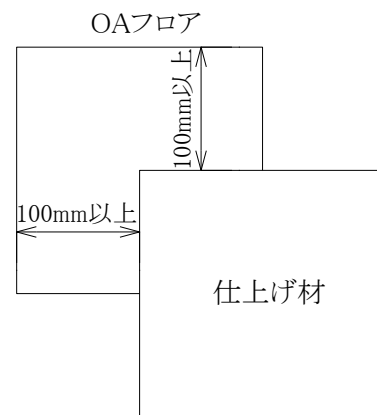
○ステンレス上がり框は受注生産品ですので、寸法をあらかじめ確認のうえ、注文をお願いします。
見積り、納期、納まり等に関しましては、弊社営業までご確認ください。

4-10 自主検査

○接着剤硬化後、自主検査表をもとに検査を行います。自主検査表は P29 に記載しています。

4-11 仕上げ材の施工

○タイルカーペット、OA フロア用タイル等仕上げ材は、
パネルの目地部分を跨ぐようにパネルの端から概ね
100mm 以上ずらして施工してください。



5.重量機器の搬入要領

5-1 重量機器搬入時の注意点

設備などの搬入・搬出に関して、キャスターによるこじりや衝撃などによる過大な移動荷重が OA フロアに作用し、パネルに窪みを生じさせたり、場合によってはパネルを破損させる事になります。

パネルの上で 300kg を超える資材を運ぶ場合には、局部荷重がかからないように、厚手の合板等を敷くなど、荷重を分散させる措置を取ってください。

また、下記事項にご留意ください。

○移動荷重は人力で押す程度の静かな載荷を前提としています。

○方向転換の為、キャスターをこじる、急なロックをかける等の操作は過大な荷重が生じますので避けてください。

自主検査表

年 月 日

殿

工事名： _____

検査日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日

検査者氏名： _____

下記の検査を自主検査を行いましたのでご報告します。

項目	検査要領	品質目標		自主検査結果
パネルの面高さ（※1）	目視で判断し、必要のある箇所を水平器・水糸などで測定する。	2mにつき 3.0mm 以下		
パネル間の段差	目視で判断し、必要のある箇所を直定規・隙間ゲージなどで測定する。	A（※2）	1.0mm 以下	
		B（※2）	2.0mm 以下	
パネルの目地の通り	目視による。	支障のないこと。		
がたつき	歩行による。	支障のないこと。		
外観	目視による。	有害な破損や汚れのないこと。		
開閉性	開閉による。	開閉・復元が容易なこと。		
汚れ	目視による。	著しい汚れのないこと。		

※1 ドア枠、ファンコイル、ボーダーコンクリート、架台のレベルに差があり床仕上げレベルを合わせる必要がある場合は除く。

※2 A はビニル床タイルの目地ずらしはり仕上げ、B はタイルカーペットの目地ずらしはり仕上げに適用する。

○上記項目、検査要領、目標品質はフリーアクセスフロア工業会の一般事務室における推奨値。
（フリーアクセスフロアの性能評価 2022.03（フリーアクセスフロア工業会規格）より引用）